

R3～R7 五戸町社会教育計画 事業計画・目標

重点項目		枝番	担当課等	事業人	継続・新規	目標		備考	
1	ア	地域学校協働活動の推進	①	社会教育班	学校支援活動推進事業	継続	単年	連絡協力体制を充実させるため人材を確保する（学校支援コーディネーターを1校あたり2人）・（ボランティアを1校あたり15人）	令和元年度 コーディネーター5人、ボランティア24人（2校）
1	ア	地域学校協働活動の推進	②	社会教育班	学校支援活動推進事業	継続	単年	学校支援コーディネーター（全学区）を対象とした情報交換会を2回開催する（延べ参加者数：10人）	令和元年度 1回・5人
1	ア	地域学校協働活動の推進	③	社会教育班	青少年健全育成事業	継続	単年	行事やイベント、ノベルティ配布等の活動を実施する（2回）	令和元年度 3回
1	ア	地域学校協働活動の推進	④	社会教育班	放課後子ども教室推進事業	一部改善	単年	放課後子ども総合プランにおいて目的や課題の共有を図ることを目的とした研修会を1回開催する（参加者数：20人）	
1	イ	地域が支えるキャリア教育の充実	①	スポ公	地域女子サッカー連携協力事業	継続	単年	五戸町スポーツクラブU-15女子ガールズと八戸学院大学女子サッカー部との連携協力により、女子サッカーを通じたナナメの関係づくりを推進する（年2回）	令和元年度 1回（1回は中止）
1	イ	地域が支えるキャリア教育の充実	②	社会教育班	町民大学講座	継続	単年	ふるさとの歴史、文化、風習等に触れる機会を増やすため、地元に関する講座を2回開催する。（延べ参加者数：80人）	令和元年度 3回・120人
1	イ	地域が支えるキャリア教育の充実	③	社会教育班	職場体験支援事業	新規	期間内	職場体験における学校や受け入れ先のニーズを調査し、支援内容を策定する。	

R3～R7 五戸町社会教育計画 事業計画・目標

重点項目		枝番	担当課等	事業人	継続・新規	目標		備考		
1	ウ		子どもの読書活動の充実	①	図書館	おはなし会事業	継続	単年	読み聞かせ活動に関わる人材の確保のため、おはなし会を毎月開催する（延べ参加読み手数：12人）	令和元年度 毎月1回開催（3月中止）・14人
1	ウ		子どもの読書活動の充実	②	図書館	移動図書館事業	継続	単年	子どもの読書活動を推進するため、移動図書館事業を実施する（年間借受冊数：3,700冊）	令和元年度 4,646冊
1	ウ		子どもの読書活動の充実	③	図書館	図書館相互連携事業	継続	単年	児童書の充実を図るため、青森県内の図書館と連携を行う（年間借受冊数：20冊）	令和元年度 5冊
1	エ		家庭教育支援の充実	①	社会教育班	家庭教育支援事業	新規	期間内	福祉関係団体と連携し、保護者向けの学習講座やSNSを活用した相談体制を構築する。	
1	エ		家庭教育支援の充実	②	社会教育班	家庭教育支援事業	新規	期間内	民間業者と家庭教育用教材を活用し、幅広い発達段階に応じた学習を提供する事業を実施する	
1	エ		家庭教育支援の充実	③	社会教育班	子ども会事業	新規	単年	家庭教育力の底上げを図るため、子ども会のネットワークを通じて、座談会や研修会を2回開催する（延べ参加者数：40人）	
1	オ		青少年体験活動の充実	①	社会教育班	放課後子ども教室推進事業	継続	単年	自然体験及び社会体験ができるようなプログラムの開催する（全教室合計：年間30回）	令和元年度 24回

R3～R7 五戸町社会教育計画 事業計画・目標

重点項目		枝番	担当課等	事業人	継続・新規	目標	備考		
1	オ	青少年体験活動の充実	②	社会教育班	通学合宿事業	一部改善	期間内	実行委員会の在り方を見直す。実行委員のうち2割を10代～40代の年齢層の実行委員になるよう構成し、より多世代との関わりを充実させるような事業を目指す	
2	ア	地域活動の実践者、コーディネーターの養成	①	社会教育班	放課後子ども教室推進事業	継続	単年	コーディネーターの資質を向上できるような研修会を1回開催する。または県主催の研修会へ参加する（参加者数：2人）	
2	ア	地域活動の実践者、コーディネーターの養成	②	社会教育班	地域活動実践者交流事業	新規	単年	活動実践例を報告したり、実践者同士が互いに学び合えるような報告会を1回企画・開催する（参加者数：10人）	
2	イ	次代の地域を担う若者の育成	①	社会教育班	成人式	継続	単年	地域の次世代の人材を育成するため、成人式実行委員の募集する（委員数：20人）	令和元年度 22人
2	イ	次代の地域を担う若者の育成	②	社会教育班	社会教育事業広報事業	一部改善	単年	SNSを活用して研修会等への参加呼びかけを行う（年5回）	
2	ウ	地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援	①	社会教育班	地域活動実践者交流事業	新規	単年	社会教育に係る全ての分野の人財へ参加の呼びかけを行い、社会教育の中での異業種交流の場を設ける交流会を1回開催する（参加者数：40人）	

R3～R7 五戸町社会教育計画 事業計画・目標

重点項目		枝番	担当課等	事業人	継続・新規	目標		備考		
2	ウ		地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援	②	社会教育班	社会教育事業広報事業	一部改善	単年	SNSでボランティアバンク等の人材を紹介する（月1回）	
3	ア		高齢者や障害者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実	①	社会教育班	町民大学講座事業	一部改善	単年	福祉関係団体と連携し、高齢者又は障害者に役立つ内容の講座を2回開催する（延べ参加者数：40人）	
					社会教育班	町民大学講座事業	一部改善	期間内	町ホームページ、ケーブルテレビ等を活用したオンライン受講体制の整備を行う。	
					公民館	公民館講座事業	継続	単年	学びの機会の充実を図るため、多様なニーズに応じた公民館講座等の開催する（講座数合計：15講座）	令和元年度 公民館講座10、短期講座2、移動講座3
3	ア		高齢者や障害者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実	②	社会教育班	町民大学講座事業	一部改善	単年	県民カレッジの単位認定制度を活用し、新規受講者を増やす（5人）	
3	ア		高齢者や障害者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実	③	社会教育班	町民大学講座事業	継続	単年	大学等の教育機関からの講師派遣（出前講座等）活用する（4回）	令和元年度 2回

R3～R7 五戸町社会教育計画 事業計画・目標

重点項目		枝番	担当課等	事業人	継続・新規	目標	備考
3	イ	①	社会教育班	町民大学講座事業	一部改善	単年 年度内に学んだテーマを一つ取り上げて実践レポートを書いて提出してもらうことで記念品がもらえる仕組みを作る（参加者数：3人）※発表や掲示の機会も設ける	
3	イ	②	公民館	自主活動団体支援事業	継続	単年 自主的に活動している団体について、公民館使用料を減免して活動を支援する（支援団体数：45団体）	令和元年度 45団体
3	イ	③	社会教育班	ボランティアバンク事業	一部改善	期間内 ボランティアバンクの活用を促すため町ホームページやSNSを活用し、利用しやすい環境を整備する	
3	イ	④	公民館	文化協会連携事業	継続	単年 文化協会との連携を図るため、定期的に協議等を行う（5回）	令和元年度 5回
4	ア	①	社会教育班	社会教育計画策定事業	新規	期間内 令和8年度から12年度の社会教育計画を計画的に策定する	
4	ア	②	社会教育班	社会教育事業評価事業	新規	単年 社会教育計画に基づき、事業が実施されているか適切に評価する。（1回）	
4	ア	③	社会教育班	社会教育事業広報事業	一部改善	単年 様々な学習を町民が選択でき、自発的に学ぶ機会を作るため、広域的で多種多様な学習情報を発信する（10回）	

R3～R7 五戸町社会教育計画 事業計画・目標

重点項目		枝番	担当課等	事業人	継続・新規	目標		備考		
4	イ		社会教育施設の機能の充実と活用の促進	①	図書館	利便性向上事業	新規	期間内	利用者の利便性向上のため、照明LED化について計画期間内に実施する	
4	イ		社会教育施設の機能の充実と活用の促進	②	公民館	文化まつり事業	継続	単年	文化まつりをとおして、文化団体の交流を促進する。（参加団体：54団体）	令和元年度 54団体
4	イ		社会教育施設の機能の充実と活用の促進	③	社会教育班	学習ニーズ把握事業	一部改善	単年	学習ニーズの把握に努めるため、事業ごとに参加者アンケート等を実施する（20回）	
4	ウ		社会教育関係職員の養成と資質の向上	①	社会教育班	研修会参加事業	継続	単年	社会教育関係者の資質向上のため、研修会等への参加を奨励する。（延べ参加者数：20人）	令和元年度 16人
4	ウ		社会教育関係職員の養成と資質の向上	②	社会教育班	社会教育主事養成事業	新規	期間内	社会教育への理解を深め、社会教育主事の資格所持者を増やすため、受講希望者を募り講習へ派遣する（期間内1人）	
4	ウ		社会教育関係職員の養成と資質の向上	③	社会教育班	担当者会議出席事業	継続	単年	県内外の社会教育関係情報の収集のため、担当者会議等へ出席する（参加会議等回数：10回）	令和元年度 8回
4	エ		社会教育関係団体等の活動の支援	①	社会教育班	社会教育事業広報事業	一部改善	単年	SNSや郵送を活用して指導者養成に関する研修会への参加呼びかけを行う（3回）	

R3～R7 五戸町社会教育計画 事業計画・目標

重点項目			枝番	担当課等	事業人	継続・新規	目標		備考
4	エ	社会教育関係団体等の活動の支援	②	社会教育班	「五戸の教育」刊行事業	継続	単年	社会教育団体情報の掲載内容の充実を図る	
5	ア	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	①	社会教育班	町立学校体育施設開放事業	継続	期間内	学校体育施設開放制度を周知し、スポーツ環境を提供する (新規定期利用団体数：5団体)	令和元年度 29団体
				スポ公	スキー・スノーボード教室事業	継続	単年	若者がスポーツを気軽に楽しめる環境整備を行う(1回 参加者数：20人)	令和元年度 1回・16人
5	ア	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	②	社会教育班	五戸町民歩こう会事業	継続	期間内	周知方法を再検討し、親子・家族参加者を増やす(親子・家族参加組数：5組)	令和元年度 0組
5	ア	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	③	社会教育班	五戸町民登山事業	継続	期間内	周知方法を再検討し、新規参加者を増やす(新規申込者数：20人)	令和元年度参加者 29人
				社会教育班	体力・運動能力調査事業	継続	単年	体力・運動能力調査を町民に周知し、測定希望者を増やす(60歳以上参加者数：15人)	令和元年度 7人
				スポ公	リフレッシュ健康体操教室事業	継続	単年	運動不足の解消、老化予防、心身のリフレッシュを図る教室を開催する(76回 延べ参加者数：2,000人)	令和元年度 104回・1,949人

R3～R7 五戸町社会教育計画 事業計画・目標

重点項目		枝番	担当課等	事業人	継続・新規	目標		備考
			スポ公	いきいき健康教室事業	継続	単年	健康づくりのため運動習慣を身につける教室を開催する（1回 参加者数：30人）	令和元年度 1回・30人
5	イ	①	スポ公	うまっこスクール事業	継続	単年	様々な運動で体を動かすことの楽しさを体感する機会を設ける（30回）	令和元年度 34回
5	イ	②	スポ公	体育施設を活用した学校部活動への支援事業	継続	単年	継続的にスポーツ活動を行うことができるよう管理している体育施設を優先的に提供する（4施設 陸上競技場、サッカー場、テニスコートは4月から11月、五戸ドームは冬期間）	令和元年度 4施設（陸上競技場、サッカー場、テニスコート、五戸ドーム冬期間）
5	イ	③	社会教育班	五戸町スポーツ少年団本部事業	継続	単年	スポーツ少年団活動の充実を図るため団員及び指導者を継続して確保する（団員：280人 指導者：40人）	令和元年度 団員 276人 指導者 39人
			スポ公	スポーツクラブイベント開催事業	継続	単年	スポーツ参加機会の充実を図るため、スポーツクラブの各教室を開催する（4回）	年4回 サッカー61人 ソフトテニス56人 野球 中止
5	ウ	①	スポ公	スポーツ栄養教室事業	継続	単年	食事と運動の両面から体力づくりや健康づくりに関する情報を提供する（1回 参加者数：20人）	令和元年度 1回・17人
5	ウ	②	スポ公	スポーツクラブ競技力向上事業	継続	期間内	サッカー、野球、バスケットボール、ソフトテニスの競技力向上を図る（4競技）	令和元年度 4競技

R3～R7 五戸町社会教育計画 事業計画・目標

重点項目			枝番	担当課等	事業人	継続・新規	目標		備考
5	ウ	地域のスポーツ環境の整備・充実	③	社会教育班	五戸町スポーツ推進委員会事業	継続	期間内	スポーツ推進委員を確保し、推進計画の充実を図る（定数15人）	令和元年度 13人
				スポ公	運動指導者の派遣事業	継続	単年	幼児から高齢者まで幅広い年齢層へに対して運動指導者を派遣する（30回）	令和元年度 35回
				スポ公	救命講習会事業	継続	単年	救命のための応急手当の知識と技術を身につけた人材を育成するため、講習会を1回開催する（参加者数：20人）	令和元年度 1回・18人
				スポ公	メンタルトレーニング講習会事業	継続	単年	競技力向上の心理的スキルを身につけた人材を育成するため、講習会を1回開催する（参加者数：20人）	令和元年度 1回・15人
				スポ公	指導者育成事業	継続	単年	講習会を開催し、指導法を学んだりライセンスを取得した指導者を育成する（1人）	令和元年度 0人（講習会中止）
5	ウ	地域のスポーツ環境の整備・充実	④	社会教育班	ひばり野公園管理事業	継続	期間内	改修に向けた基本構想を策定する	
				スポ公	トレーニング教室事業	継続	単年	初心者がトレーニング方法や機器の使い方を学ぶ教室を20回開催する（延べ参加者数：30人）	令和元年度 17回・28人

R3～R7 五戸町社会教育計画 事業計画・目標

重点項目		枝番	担当課等	事業人	継続・新規	目標		備考	
5	エ	スポーツによる地域の活性化	①	社会教育班	五戸町スポーツ協会事業	一部改善	期間内	スポーツによる地域活性化を図るため、スポーツ協会主催イベントを1回開催する（参加者数：100人）	
				スポ公	スポーツ大会開催事業	継続	単年	様々な年代が参加できるスポーツ大会を通年にわたって開催する（8回）	令和元年度 8回
5	エ	スポーツによる地域の活性化	②	社会教育班	町民運動会事業	継続	単年	競技や運営方法を見直し、参加者数の増加を図る（1,000人）	令和元年度 760人
				スポ公	全国大会・東北大会及び県大会の招致事業	継続	単年	サッカーの町としてのPR、観光振興のため東北大会などを招致する（1回）	令和元年度 0回
5	エ	スポーツによる地域の活性化	③	スポ公	スポーツ情報広報事業	継続	単年	スポーツ活動に関する情報提供のため町広報やSNS等に掲載する（年50回）	令和元年度 38回（広報12回、FB26回）
6	ア	文化財の保護と保存の推進	①	社会教育班	旧圓子家住宅管理事業	継続	単年	旧圓子家住宅の適切な管理を行い、保存活用を図る（年間管理日数70日）	令和元年度 70日
6	ア	文化財の保護と保存の推進	②	社会教育班	文化財保護審議会事業	継続	単年	文化財保護審議会との連携による文化財調査、視察、研修会等を行う（3回）	令和元年度 2回

R3～R7 五戸町社会教育計画 事業計画・目標

重点項目		枝番	担当課等	事業人	継続・新規	目標	備考		
6	ア	文化財の保護と保存の推進	③	社会教育班	ごのへ郷土館管理事業	継続	単年	ごのへ郷土館にて特別展を2回開催し、文化財保護思想の普及を図る（延べ見学者数：1000人）	令和元年度 2回・994人
6	イ	文化財の公開と活用	①	社会教育班	ごのへ郷土館管理事業	一部改善	単年	文化財の適切な管理を行うため、取蔵環境の改善を進める	
6	イ	文化財の公開と活用	②	社会教育班	社会教育事業広報事業	継続	単年	SNSを活用して文化財に関する情報発信を行う（24回）	令和元年度 22回
6	イ	文化財の公開と活用	③	社会教育班	文化財パトロール事業	継続	単年	埋蔵文化財包蔵地等の現状確認を計画的に行う（文化財パトロール件数：38件）	令和元年度 38件
6	ウ	伝統芸能・技術の継承	①	社会教育班	伝統工芸保存活動事業	継続	単年	伝統工芸の後継者育成のため、体験会の実施支援を行う（5団体）	令和元年度 5団体
				社会教育班	伝統芸能伝承活動事業	継続	単年	伝統芸能の後継者育成支援を行うため、保存団体へ補助金を交付する（5団体）	令和元年度 5団体
6	ウ	伝統芸能・技術の継承	②	社会教育班	伝統工芸保存活動事業	一部改善	期間内	団体のニーズを調査し、発表機会の拡充がどの程度・どのような範囲で求められているのか把握する仕組みを作る	ごのへ郷土館活動室利用団体

R3～R7 五戸町社会教育計画 事業計画・目標

重点項目		枝番	担当課等	事業人	継続・新規	目標	備考
6	ウ		③ 社会教育班	伝統芸能伝承活動事業	一部改善	単年 子どもへの伝統芸能継承を支援するため、継続的に児童生徒に伝統芸能継承活動を実施している団体への支援を行う（5団体）	